



第70回

全国植樹祭あいち2019

～木に託す もり・まち・人の あす・未来～

実施計画

< 概要版 >

第70回全国植樹祭愛知県実行委員会



 愛知県

第1章 開催概要

1.	開催意義	1
2.	開催理念	2
3.	大会テーマ	3
4.	マスコットキャラクター	3
5.	大会ポスター原画	3
6.	大会イメージソング	3
7.	開催日	4
8.	主催	4
9.	開催規模	4
10.	開催会場	4

第2章 式典行事計画

1.	基本的な考え方	6
2.	式典の運営	6
3.	式典進行プログラム	7
4.	式典演出の概要	10

第3章 植樹行事計画

1.	基本的な考え方	12
2.	お手植え計画	13
3.	お手播き計画	14
4.	代表者記念植樹計画	14
5.	招待者記念植樹計画	15
6.	植樹会場整備計画	17

第4章 会場整備計画

1.	基本的な考え方	20
2.	施設配置計画	20
3.	主要施設計画	23
4.	サイン計画	25
5.	飾花計画	25
6.	電気・給排水・通信設備計画	25

第5章 運営計画

1. 基本的な考え方	26
2. 招待計画	26
3. 行動計画	27
4. 受付計画	28
5. 作品御覧・レセプション計画	29
6. 会場内動線計画	30
7. 会場おもてなし計画	31
8. サテライト会場計画	33
9. 昼食計画	34
10. 医療・衛生計画	35
11. 消防・防災・警備計画	35
12. 実施本部計画	36
13. 研修・リハーサル計画	37
14. 雨天時・強風時対応計画	37

第6章 宿泊輸送計画

1. 基本的な考え方	38
2. 宿泊計画	38
3. 輸送計画	39

第7章 荒天時式典計画

1. 基本的な考え方	40
2. 会場	40
3. 開催規模	41
4. 運営計画	41

第8章 記念事業等計画

1. 基本的な考え方	42
2. 記念事業	42
3. 関連事業	44

第9章 広報・協賛計画

1. 基本的な考え方	45
2. 広報計画	45
3. 協賛計画	46

第1章 開催概要

1. 開催意義

本県は、主力産業である自動車産業をはじめ、繊維や陶磁器などの伝統産業からロボットなどの次世代産業まで、ものづくりが盛んな「日本一のものづくり県」であり、2027年の開業をめざすリニア中央新幹線、国産初のジェット旅客機MRJなど、日本の未来を創るプロジェクトが、この愛知を舞台に大きく羽ばたこうとしています。

また、全国屈指の農業県であり、中でも花きは、1962年から現在まで全国第1位を誇っています。

加えて、2005年の「愛知万博」、2010年の「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」、2014年の「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」といった国際的なイベント開催により培われてきた県民の高い環境意識を生かし、環境施策においてトップランナーである「環境首都あいち」の実現を目指しています。

2015年には「全国都市緑化フェア」を開催するなど、緑や環境をテーマとした取組を継続的に行うとともに、山から街まで森や緑を守る「あいち森と緑づくり税」を導入し、独自の事業を展開しています。

また、公共建築物等木材利用促進法に基づく都道府県方針である「あいち木づかいプラン」や県内全ての54市町村が策定した市町村方針により、官民一体となって住宅や公共施設等への県産木材の利用拡大も進めています。

こうした中で、2019年に、第70回全国植樹祭を愛知県で開催することになりました。愛知県での開催は、1979年以来40年ぶり、2回目となります。

第70回全国植樹祭を「愛知の誇るものづくりの伝統と文化」、「森と緑づくりや木づかい」など、本県の魅力や取組を全国に発信する機会とします。

愛知県における全国植樹祭の開催状況

愛知県では、1979年5月27日、西加茂郡藤岡町（現在の豊田市）にて、天皇皇后両陛下をお迎えし、「緑で結ぼう山村と都市」を大会テーマに、第30回全国植樹祭を開催しました。

この大会では、天皇陛下がヒノキを、皇后陛下がハナノキをお手植えになるとともに、南設楽郡鳳来町（現在の新城市）にて、スギとヒノキをお手播きになりました。

また、約2万人の参加者により、ツブラジイ、シラカシ、アラカシ等の記念植樹が行われました。



天皇陛下お手植え



天皇陛下お手播き



記念植樹

2. 開催理念

本県は、日本のほぼ中央に位置し、南は太平洋に面し、西部から南部にかけての一带は平坦で、濃尾平野、岡崎平野、豊橋平野が形成されており、東部には、三河山間部が広がるなど、多様な環境に恵まれています。

また、中京工業地帯の中心として、航空宇宙やファインセラミックス、エレクトロニクス等の先端産業や自動車産業等、世界でも有数の産業集積を誇り、製造品出荷額等が、1977年から現在まで全国第一位を誇る「日本一のものづくり県」です。

本県の「ものづくりの歴史」を振り返りますと、江戸時代において、名古屋では、木曾川を経て運ばれてくる良質な木材の一大流通拠点であったことや、名古屋城築城の際に集められた職人が定住化したことから、木材を利用した街づくりはもちろんのこと、「からくり人形づくり」や「山車づくり」、「家具製造」などを通じて、「木材を利用する技術」が培われました。

明治時代においては、こうした「木材を利用する技術」から発展した、時計、鉄道車両、楽器、航空機、織機などの近代産業をもたらし、本県の工業発展の礎となっています。まさに、木材の利用は、本県のものづくりの原点となっています。

一方、本県の「森林づくりの歴史」につきましては、古くは、自然に育った幼樹を採取し、苗木として植樹していました。

江戸時代から明治時代において、三河地方を中心に、種から苗木を育てる技術が発達し、容易にかつ多くの苗木を確保することが可能となり、植樹が進みました。また、尾張地方を中心に、燃料としての森林の伐採等によりハゲ山が広がっていましたが、尾張藩による植樹やヨーロッパの技術を取り入れて実施された治山事業などにより復旧されました。

戦後においては、復興の際に伐採された森林の緑化促進や高度成長期の木材需要の高まりを背景に、植樹が進められました。

こうした先人の方々のたゆまぬ努力が礎となり、現在は県土面積51万7千haのうち21万8千haが森林となっています。

また、人工林の割合は64%で、全国平均の46%を大きく上回り、人工林のうち、成熟して利用できる時期に達している森林の面積は81%と全国平均の52%に比べて大きな割合を占めています。

このように、森林資源が充実し、本格的な利用期を迎えている今こそ、木材利用を推進していくことが重要です。

木材の利用は、林業・木材産業を活性化するとともに、森林整備を促進することから、水を蓄え山崩れを防ぐなど、森林の有する多面的機能の持続的な発揮につながります。

さらに、木材の持つ柔らかさ、温かさといった特性は、快適で健康的な生活環境をもたらしてくれます。

このため、本県では、名古屋市を中心とした大消費地を抱える特性を生かし、住宅や公共建築物、街なみ等都市部への木材利用の取組を広げていきます。

また、成熟した森林を伐採・利用し、植樹をして次世代の森を造っていく「循環型林業」や、森や緑を守り育む「あいち森と緑づくり事業」を推進することにより、多面的機能を持続的に発揮できる森林づくりを加速していきます。

こうしたことから、第70回全国植樹祭は、以下の理念により開催します。

私たちは、「木材の利用」を山村と都市をつなぐ架け橋とし、
健全で活力のある「森林づくり」と「都市づくり」を進めていきます。

3. 大会テーマ

木に託す もり・まち・人の あす・未来

作 者 : 大井田 雄策さん (東京都大田区)

制作意図 : 開催理念である「森林づくり」、「都市づくり」を進めることは、そこに住む「人づくり」にも通じることであり、今回の植樹祭で植える木から「森林をつくり」、「都市をつくり」、「人をつくる」ことで、明るい明日や未来をつかっていきたい。

全国から応募のあった899点の作品の中から、選定しました。

4. マスコットキャラクター

作 者 : 盛 秀雄さん (青森県青森市)

制作意図 : 愛知県の「A」の字をモチーフに、愛知県の森に住む、葉っぱを巻いた元気な女の子をイメージし、キャラクター化しました。
手には、苗とシャベルを持たせ、大会テーマの「木に託す もり・まち・人の あす・未来」を強調し、表現しました。



森ずきんちゃん

全国から応募のあった855点の作品の中から、選定しました。

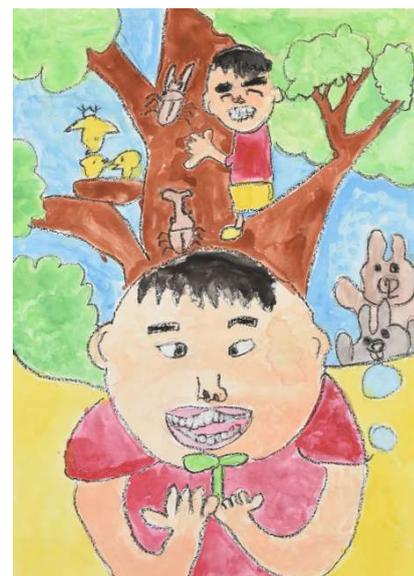
5. 大会ポスター原画

画 題 : 「ぼくの木」

作 者 : 齋藤 悠大さん (西尾市立津平小学校2年)
※2017年度受賞当時

制作意図 : ぼくのうえた木に、大すきなかぶとむしやたくさん生きものが、たのしくらせるようになるといいと思ってかきました。

愛知県内の小・中学校の児童生徒から応募のあった12,439点の作品の中から、選定しました。



6. 大会イメージソング

愛知県にゆかりがあり、またLOVEあいちサポーターズでもあるシンガーソングライターの岡村孝子さんに大会イメージソングを制作していただきました。

楽 曲 名 : 「と・も・に」

作詞・作曲・唄 : 岡村孝子

第70回全国植樹祭を広く県民の皆様にお知らせし、大会を親しみやすいものとしていくため、木づかい・森づくりへのメッセージを込めた大会イメージソングになっています。

7. 開催日

2019年 6月2日（日）

8. 主催

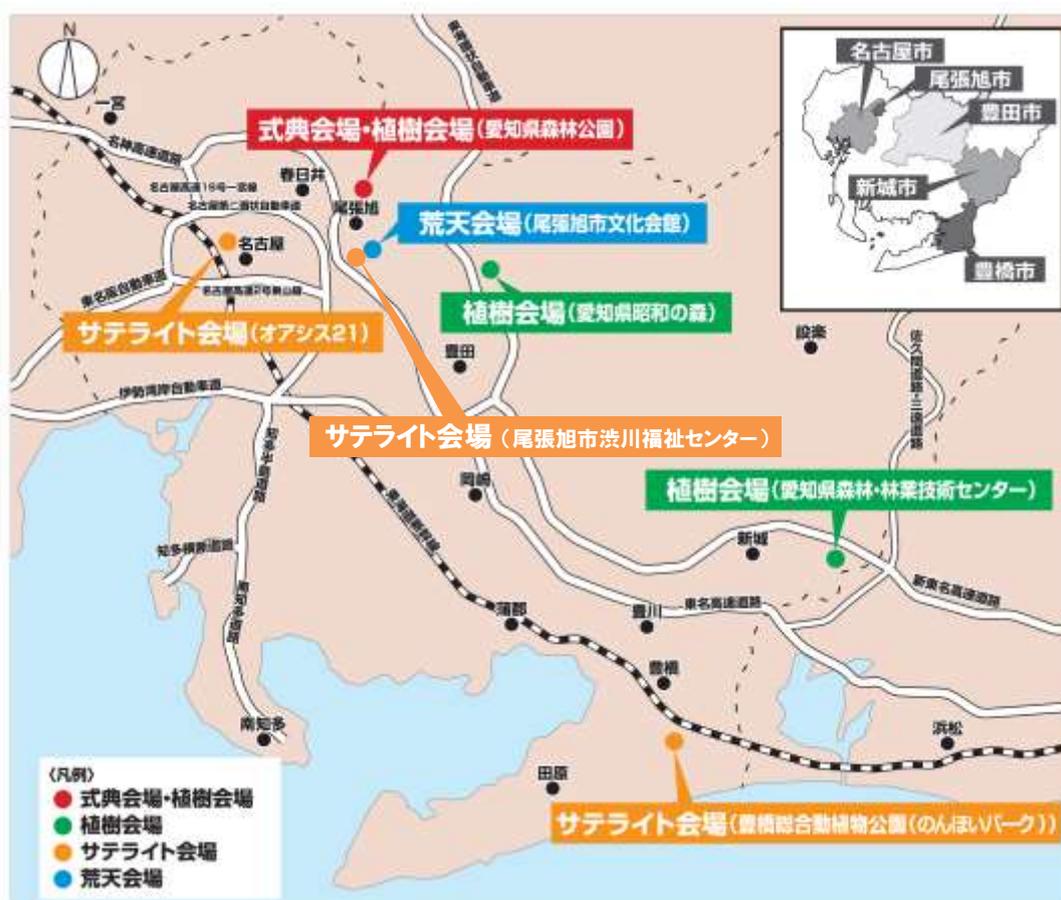
公益社団法人 国土緑化推進機構
愛知県

9. 開催規模

県内外から参加する招待者、実施本部員合わせて10,000人程度の規模で開催します。
ただし、荒天時は縮小します。

区分	参加予定者数	内訳
県外招待者	1,480人	国関係者、被表彰者、他県招待者 等
県内招待者	6,320人	県議会、市町村関係者、森林・林業・緑化関係団体、 県実行委員会、公募招待者 等
実施本部員	2,200人	県職員、市町村職員、ボランティア
合計	10,000人	

10. 開催会場



(1) 式典会場

式典会場では、天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播きを始めとした式典行事を実施します。

《愛知県森林公園（愛知県尾張旭市大字新居5182-1）》

尾張丘陵の一角に位置しており、江戸時代前期には「えびづる御林」として保護されていたものの窯業などのために樹木が乱伐され、明治初期は一帯がはげ山となっていました。

県の治山事業等により植生が回復し、1934年に日本初の「森林公園」としてオープンしました。一般公園、運動施設、植物園、ゴルフ施設等を有しており、総面積は536haです。



愛知県森林公園



式典会場予定地

(2) 植樹会場及びその他の会場

式典会場の愛知県森林公園をはじめ、県内5ヶ所にて招待者の記念植樹を行います。また、県内3ヶ所に、サテライト会場を設置します。

《植樹会場及びその他の会場》

区分	会場名	
植樹会場	愛知県森林公園	休養の森
		南門
	愛知県昭和の森	記念の森
		四季の丘
	愛知県森林・林業技術センター	
サテライト会場	オアシス21	
	豊橋総合動植物公園(のんほいパーク)	
	尾張旭市澁川福祉センター	



オアシス21



豊橋総合動植物公園(のんほいパーク)

第2章 式典行事計画

1. 基本的な考え方

- ◆ 全国からの招待者はもちろん、多くの県民の皆様に、大会の開催理念や大会テーマ「木に託す もり・まち・人の あす・未来」を伝え、森づくりや木材利用の重要性を全国に発信します。

2. 式典の運営

- ◆ 式典の運営は、招待者の安全性、快適性に配慮し、みどりの少年団や林業等を学ぶ高校生を始めとした次世代を担う人材の協力を得ながら運営を行います。
- ◆ 県内全域で展開する植樹祭を目指し、式典会場の様子を映像としてサテライト会場へ配信します。



参考例：第68回全国植樹祭富山大会

3. 式典進行プログラム

(1) プログラム

時間	区分	プログラム	進行内容
9:55 ～10:23 (28分)	イントロ ダクション	大会概要、愛知県の紹介等	
10:23 ～11:00 (37分)	プロローグ	プロローグアトラクション	
		感謝状の贈呈	
		記念切手の贈呈	
		記念式典案内	
11:00 ～11:55 (55分)	記念式典 【両陛下 御臨席】	天皇皇后両陛下 御到着	
		開会のことば	(公社) 国土緑化推進機構副理事長
		三旗掲揚・国歌斉唱	
		主催者挨拶	大会会長、愛知県知事
		天皇陛下のお言葉	
		表彰	緑化功労者などへの感謝の表彰
		苗木の贈呈	農林水産関係高校生から、 農林水産大臣、文部科学大臣、 環境大臣ほかに苗木を贈呈
		天皇皇后両陛下 お手植え・お手播き 代表者記念植樹	
		メインアトラクション	大会テーマの表現
		大会宣言	(公社) 国土緑化推進機構理事長 農林水産関係高校生
		リレーセレモニー	次期開催県への引継ぎ
		閉会のことば	愛知県議会議長
	天皇皇后両陛下 御出発		
11:55 ～12:18 (23分)	エピローグ	エピローグアトラクション	

(2) 登壇者一覧

No	登壇者名	登場場面
1	大会会長（衆議院議長）	①天皇皇后両陛下 御到着・御徒歩・御着席 ②主催者挨拶 ③表彰（国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール） ④天皇皇后両陛下 御退席・御徒歩・御出発
2	（公社）国土緑化推進機構理事長	①天皇皇后両陛下 御到着・御徒歩・御着席 ②天皇皇后両陛下 お手植え・お手播き ③大会宣言 ④天皇皇后両陛下 御退席・御徒歩・御出発
3	愛知県知事	①感謝状の贈呈 ②記念切手の贈呈 ③天皇皇后両陛下 御到着・御徒歩・御着席 ④主催者挨拶 ⑤表彰（愛知県緑化功労者） ⑥天皇皇后両陛下 お手植え・お手播き ⑦リレーセレモニー ⑧天皇皇后両陛下 御退席・御徒歩・御出発
4	農林水産大臣	①表彰（緑化功労者） ②苗木の贈呈
5	文部科学大臣	①表彰（全日本学校関係緑化コンクール） ②苗木の贈呈
6	環境大臣	○苗木の贈呈
7	（公社）国土緑化推進機構副理事長	○開会のことば
8	島根県知事	○リレーセレモニー・次期開催県知事挨拶
9	愛知県議会議長	①表彰（愛知県緑化功労者） ②閉会のことば
10	名古屋市長	○苗木の贈呈
11	尾張旭市長	○苗木の贈呈
12	豊橋市長	○苗木の贈呈
13	豊田市長	○苗木の贈呈
14	新城市長	○苗木の贈呈
15	農林水産関係高校生	①苗木の贈呈 ②大会宣言
16	受賞者 ①大会テーマ ②マスコットキャラクター ③大会ポスター原画	○感謝状の贈呈
17	日本郵政（株）代表取締役社長	○記念切手の贈呈
18	受賞者 ①国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者代表 ②緑化功労者代表 ③全日本学校関係緑化コンクール入賞校代表 ④愛知県緑化功労者代表（2名）	○表彰

(3) 出演者一覧

項目	人数	出演者／団体
総合司会	1名	○アナウンサー
手話通訳・要約筆記	5名	○一般社団法人愛知県聴覚障害者協会あいち聴覚障害者センター
式典進行役	3名	○学校法人南山学園 南山高等学校女子部 ○名古屋市立菊里高等学校 ○学校法人金城学院 金城学院高等学校
式典アシスタント	25名	○愛知県立愛知商業高等学校
式典音楽隊（合唱）	76名	○名古屋市立向陽高等学校 ○名古屋市立北高等学校
式典音楽隊（吹奏楽）	144名	○学校法人名古屋電気学園 愛知工業大学名電高等学校 ○愛知県立旭野高等学校 ○学校法人中部大学 中部大学春日丘高等学校
介添え 三旗掲揚 苗木の贈呈 大会宣言	144名	○みどりの少年団 ・宮の森みどりの少年団 ・尾張旭みどりの少年団 ・旭丘小みどりの少年団 ・旭小みどりの少年団 ・三郷小みどりの少年団 ・渋川小みどりの少年団 ・城山小みどりの少年団 ・瑞鳳小みどりの少年団 ・東栄小みどりの少年団 ・白鳳小みどりの少年団 ・本地原小みどりの少年団 ○一般社団法人日本ボーイスカウト愛知連盟 ○一般社団法人ガールスカウト愛知県連盟 ○農林水産関係高校 ・愛知県立猿投農林高等学校 ・愛知県立安城農林高等学校 ・愛知県立三谷水産高等学校 ・愛知県立稲沢高等学校 ・愛知県立新城高等学校 ・愛知県立田口高等学校
プロローグアトラクション メインアトラクション エピローグアトラクション	340名	○志多ら ○m o k o ○佐野文彦 ○岸みゆきバレエスタジオ ○平針木遣り音頭保存会 ○愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 ○学校法人名古屋自由学院 名古屋芸術大学 ○学校法人菊武学園 菊華高等学校 ○高森台小学校みどりの少年団 ○瀬戸市みどりの少年団 ○あいちコカリナアンサンブル
合 計	738名	

4. 式典演出の概要

プロローグアトラクション

- 「過去」の誇り - “あいち 木とものづくりヒストリー”

山から伐り出した木材を筏にして、川を下り、都市に見立てた「木づかいの舞台」を作り上げていく様子表現。



記念式典

天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き、緑化功労者等の各種表彰、大会宣言等。



お手植え



お手播き



苗木の贈呈



リレーセレモニー

参考例：第68回全国植樹祭富山大会

メインアトラクション（大会テーマの表現）

- 「いま」の思い - ^{もり} ^{まち} 森林と都市をつなぐ “木に託す言の葉の大樹メッセージ”

県内全54市町村をキャラバンし、県民の方々からいただいた、未来の木づかいや森林づくりへのメッセージにこめられた思いが、大会イメージソングに合わせて言の葉の大樹となり、実を結ぶことを表現。



言の葉大樹（イメージ）

エピローグアトラクション

- 「未来」への誓い - ^{もり} ^{まち} 森林と都市の “架け橋” を創る木づかいへの誓い

木製楽器のアンサンブル、映像を交えた音楽劇のパフォーマンス。

^{もり} 森林に見立てた「言の葉の大樹」と都市に見立てた「木づかいの舞台」を結ぶ“架け橋”を出演者全員で表現し、未来に向け、木づかいを誓う。



第3章 植樹行事計画

1. 基本的な考え方

- ◆ 本県の気候風土に適し、植樹会場周辺に生育する在来の樹種を選定するなど、地域の特性に応じた森林づくりを目指します。
- ◆ 植樹会場周辺に生育している樹種で、原則として現在愛知県内で生育している樹木から採取した種子等から育成した苗木を植樹します。
- ◆ 苗木のスクールステイなどにより、子どもたちが育てた苗木も使用します。

※苗木のスクールステイ: 全国植樹祭で使用する苗木の一部を県内の小中高生やみどりの少年団に育成してもらい取り組み。

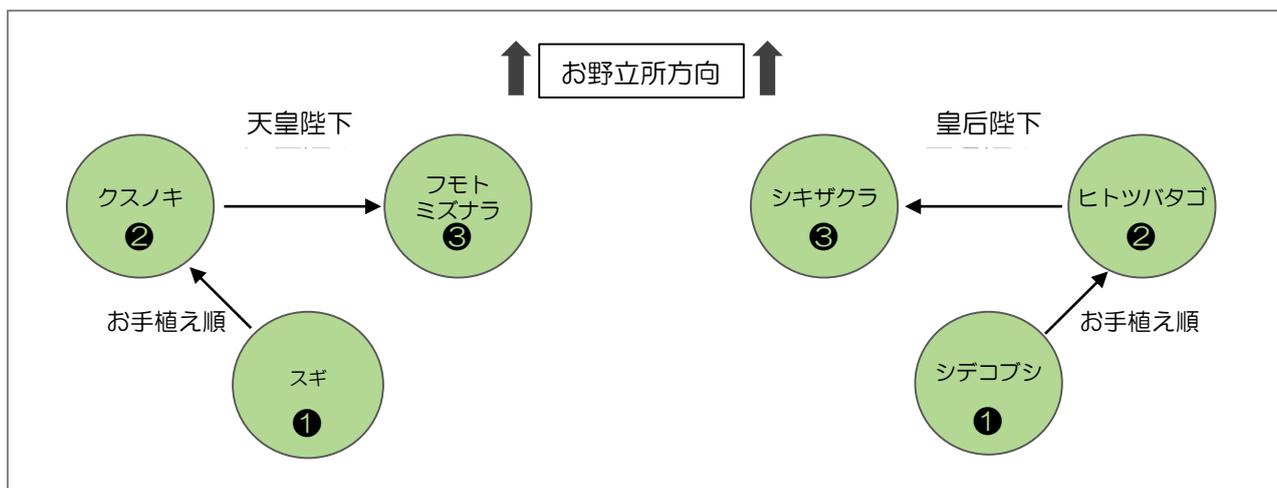
会場	位置		内容	
式典会場	お手植え所		天皇皇后両陛下	お手植え
	お手播き所			お手播き
	特別招待者席前		招待者の代表	代表者記念植樹
植樹会場	愛知県森林公園	休養の森	県内外招待者 (代表者以外)	招待者記念植樹
		南門		
	愛知県昭和の森	記念の森		
		四季の丘		
愛知県森林・林業技術センター				

2. お手植え計画

- ◆ 天皇皇后両陛下のお手植えは、お手植え所で「森」の字をかたどり、それぞれ 3 本の植樹とします。
- ◆ お手植えされた苗木は、森林づくり運動のシンボルとして、森林公園内で大切に管理・育成していきます。

天皇陛下	スギ(あいちニコ杉) 愛知県の人工林の未来を担う 少花粉スギ 	クスノキ 愛知県の「市町村の木」選定数 No.1、巨木の代表格 	フモトミズナラ 名前が変遷している珍しいドン グリの木 
	シデコブシ 白からピンクの花をつけ、里山 の春を彩る代表的な木 	ヒツバタゴ 春に白い花をつけ、雪に覆わ れたような姿が美しい木 	シキザクラ 開花時期が長い珍しい桜 

《 お手植え樹種配置図 》

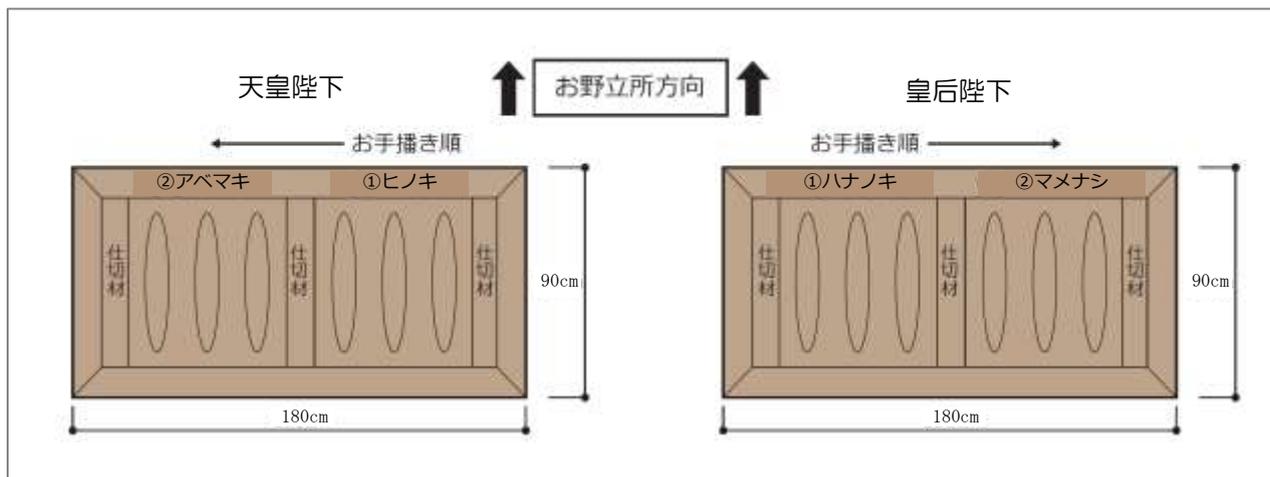


3. お手播き計画

◆ 天皇皇后両陛下のお手播きは、お手播き箱へそれぞれ 2 種の播種とします。



《 お手播き樹種配置図 》



4. 代表者記念植樹計画

- ◆ 招待者代表は、天皇皇后両陛下の 2 本目のお手植えと同時に記念植樹を行います。
- ◆ 場所は、特別招待者席前で行うものとし、1本の苗木を 2 名で植樹します。
- ◆ 樹種は、天皇皇后両陛下のお手植えと同じ樹種とします。

5. 招待者記念植樹計画

- ◆ 招待者記念植樹は、県内外からの招待者による 1 人 1 本以上の記念植樹とします。
- ◆ 県外招待者は、式典行事開始前の午前に植樹し、県内招待者は、午前又は式典行事終了後の午後に植樹します。
- ◆ 植樹会場は、第70回全国植樹祭開催後、適正に維持管理します。

会場名		本数	樹種
愛知県森林公園	休養の森	2,500本	アベマキ、コナラ、フモトミズナラ、エノキ、ムクノキ、ウワミズザクラ、ヤマザクラ、アズキナシ、イロハモミジ、エゴノキ、アラカシ、シラカシ、ツブラジイ、クスノキ、ヤブツバキ、モチノキ、ヤマモモ、ソヨゴ、コバノミツバツツジ、ムラサキシキブ、コバノガマズミ、ガマズミ、タニウツギ、アオキ、シャシャンボ
	南門	3,000本	
愛知県昭和の森	記念の森	1,400本	
	四季の丘	2,500本	
愛知県森林・林業技術センター		600本	スギ(あいちニコ杉(少花粉))
合計		10,000本	



参考例：第67回全国植樹祭長野大会



参考例：第68回全国植樹祭富山大会

《 招待者記念植樹スケジュール 》

招待者区分	植樹会場	スケジュール	
県外特別招待者	愛知県森林公園 (休養の森)	午前植樹	バスで指定宿泊地から式典会場へ移動し、入場ゲートから徒歩で植樹会場へ移動する。
県内特別招待者			バスで指定集合地から式典会場へ移動し、入場ゲートから徒歩で植樹会場へ移動する。
県外一般招待者	愛知県森林公園 (休養の森)	午前植樹	バスで指定宿泊地から式典会場へ移動し、入場ゲートから徒歩で植樹会場へ移動する。
	愛知県森林公園 (南門)		バスで指定宿泊地から植樹会場へ移動し、植樹を行った後、再びバスで式典会場へ移動する。
	愛知県昭和の森 (記念の森)		
	愛知県昭和の森 (四季の丘)		
県内一般招待者	愛知県森林公園 (休養の森)	午前植樹	バスで指定集合地から植樹会場へ移動し、植樹を行った後、再びバスで式典会場へ移動する。
	愛知県森林公園 (南門)		
	愛知県昭和の森 (記念の森)		
	愛知県昭和の森 (四季の丘)	午後植樹	バスで指定集合地から式典会場へ移動し、式典に参加した後、再びバスで植樹会場へ移動する。
	愛知県森林・林業 技術センター		

6. 植樹会場整備計画

(1) 愛知県森林公園（休養の森・南門）・愛知県昭和の森（記念の森・四季の丘）

◆ 有用広葉樹や多種多様な樹種を植栽し、人と自然が織りなす里山林を創出します。

① 愛知県森林公園（休養の森・南門）

《 会場位置図 》



《 会場平面図 》



②愛知県昭和の森(記念の森・四季の丘)

《 会場位置図 》

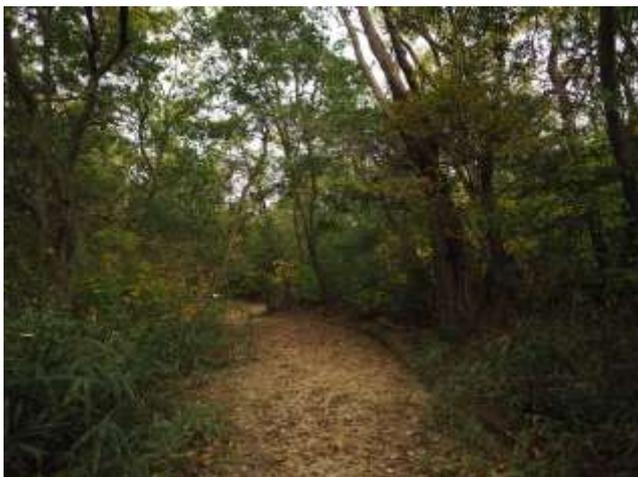


《 会場平面図 》



③整備イメージ

《 現況 》



《 将来 》



(2) 愛知県森林・林業技術センター

◆ 花粉の少ないスギ（あいちニコ杉）を植栽し、循環型林業を推進します。

《 会場位置図 》



《 会場平面図 》



《 現況 》



《 将来 》



植樹会場の管理イメージ



第4章 会場整備計画

1. 基本的な考え方

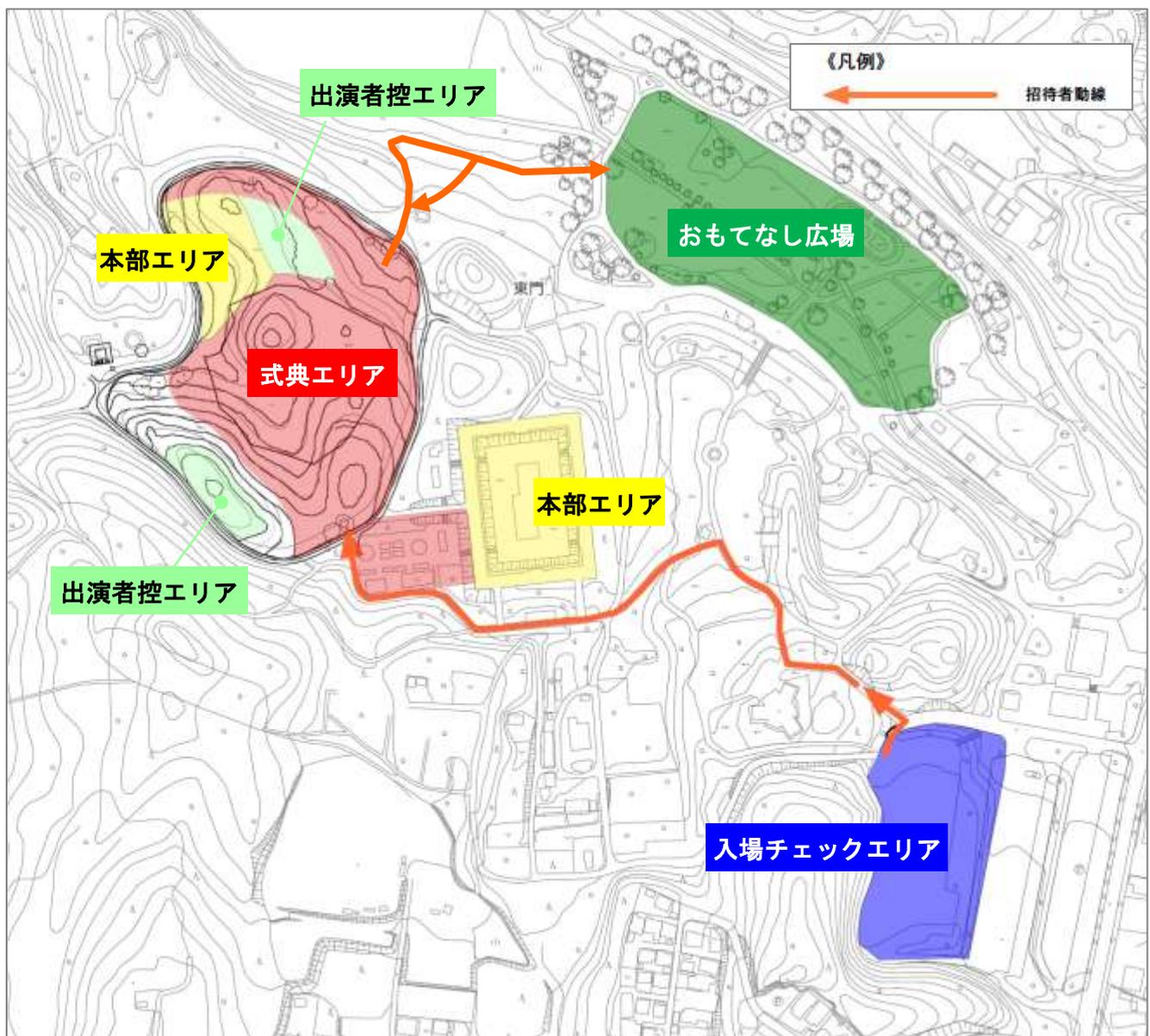
- ◆ 会場の整備にあたっては、安全性や機能性を考慮し、招待者が安心して快適に参加できるよう配慮します。
- ◆ 会場に設置する構造物等には、積極的に県産の木材や花きを使用します。

2. 施設配置計画

(1) 会場周辺状況

- ◆ 会場は、式典エリア、おもてなし広場、本部エリア、出演者控エリア、入場チェックエリアにゾーン分けします。

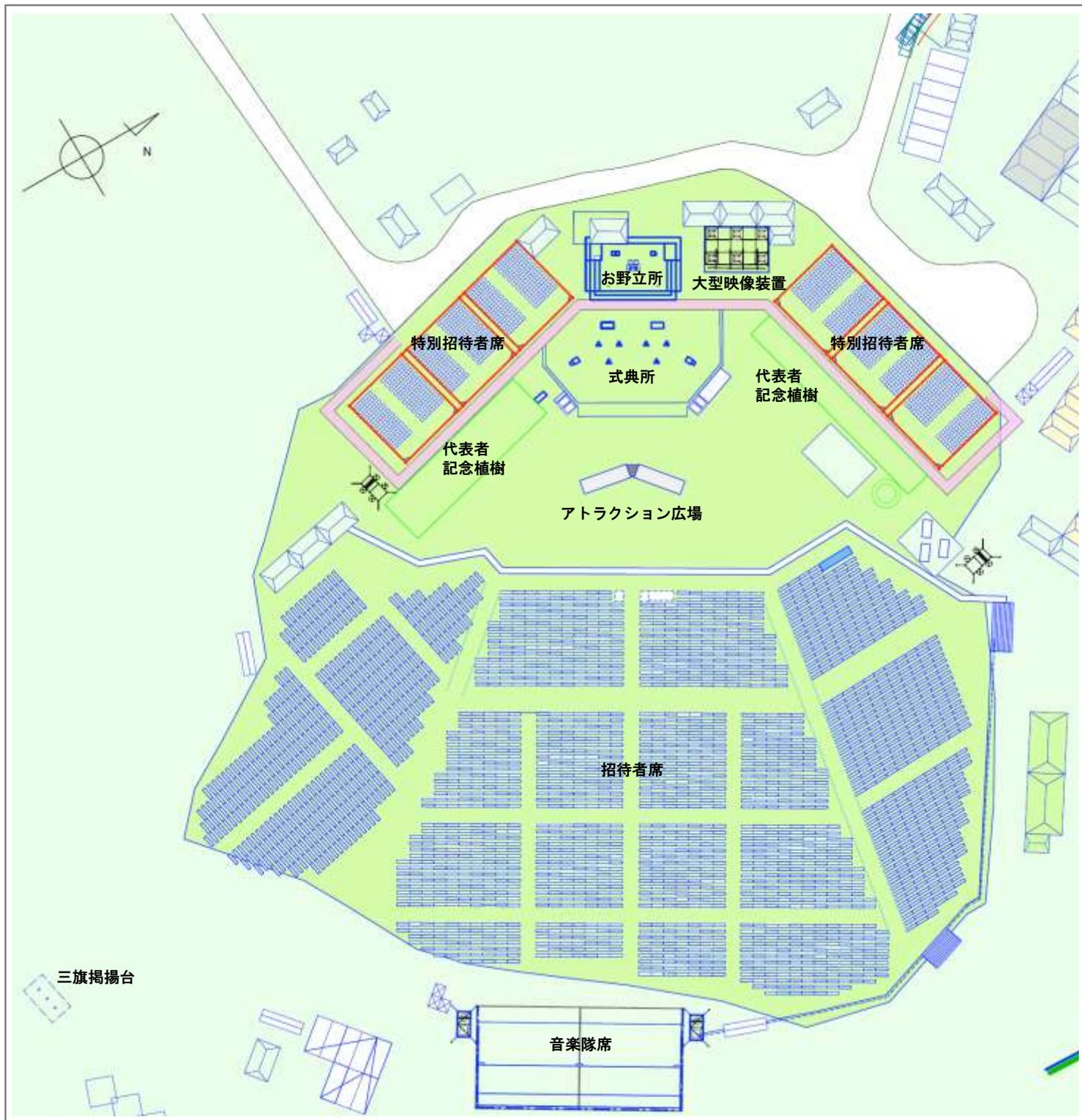
《 会場ゾーニング図 》



(2) 式典エリアイメージ



(3) 式典エリア配置図



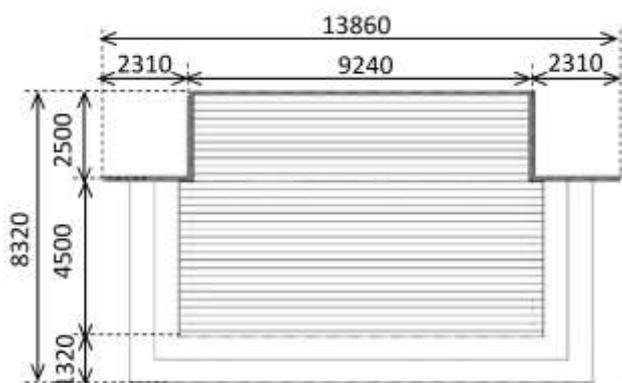
3. 主要施設計画

(1) お野立所

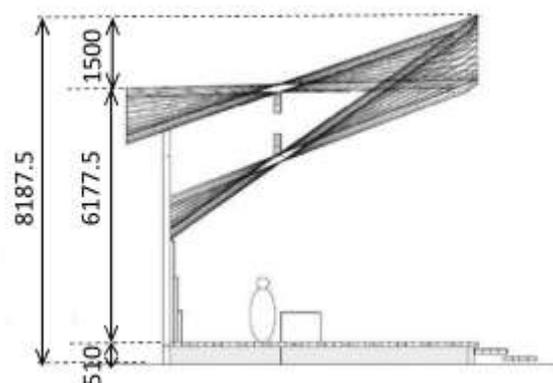
- ◆ 山・川・平野・海といった多様で豊かな環境に恵まれるとともに、「ものづくり王国」として技術と伝統が息づき、地理的にも日本の中心である愛知県から、これからの「木づかい」や「森林づくり」を全国に発信することをイメージし、広がりのある開放的な施設とします。
- ◆ 一般に流通している柱材を利用しながら、曲線的なフォルムを描くことで、「木づかい」を大きく羽ばたかせ、明日へつなぐ本県の姿勢を表現します。
- ◆ 「伐る・使う→植える→育てる」循環型林業をはじめ、愛知県が推進する木づかいからの森林づくりをPRするため、全てに県産木材を使用します。



(単位：mm)



平面図

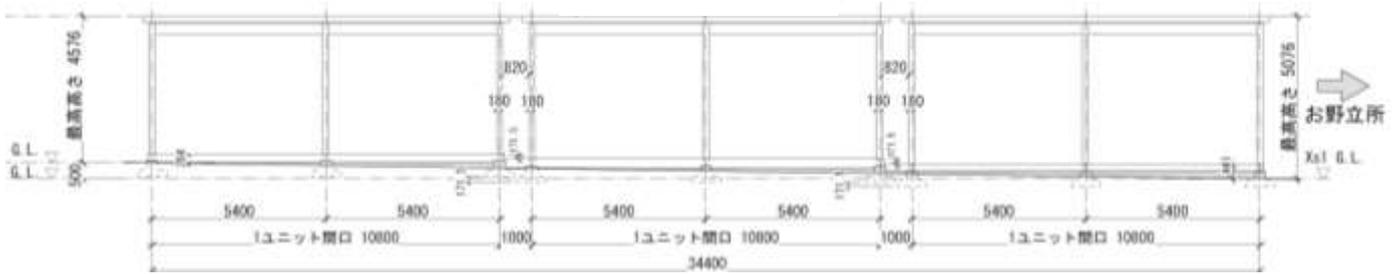


側面図

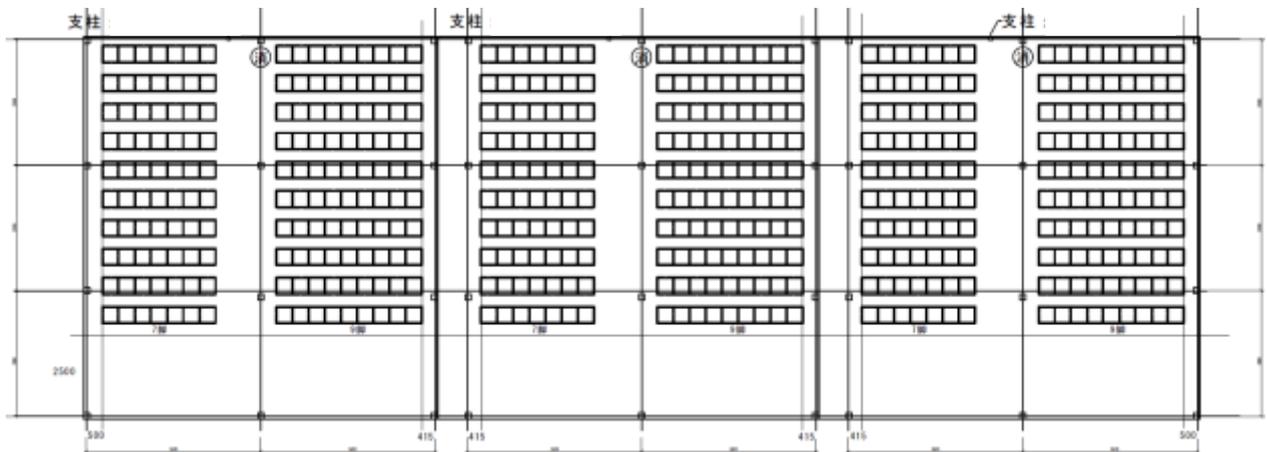
(2) 特別招待者席

◆ 特別招待者席は、全て県産木材を使用し、安全性、経済性及び周辺の景観に配慮したものとします。

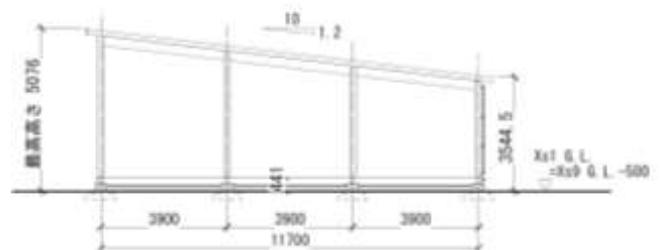
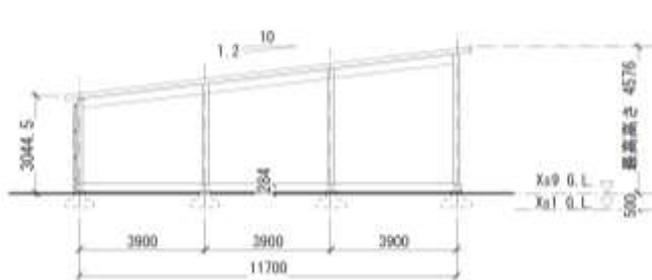
(単位：mm)



正面図



平面図



側面図

4. サイン計画

- ◆ 招待者が安全かつスムーズに式典や記念植樹などに参加することができ、各施設への移動に支障がないよう、各所に案内サインを設置します。
- ◆ 案内サインは、ユニバーサルデザインに留意し、招待者が見やすい色彩、大きさにするとともに、見やすい位置、高さに設置します。また、絵文字を使用する等、招待者が一目で分かるようなサインとします。
- ◆ 案内サインの材料には、県産木材のほか、再生可能な製品の活用等、環境に配慮した資材の使用に努めます。

5. 飾花計画

- ◆ 式典会場及び周辺の飾り花は、「花の王国あいち」らしく、県産の花きを使用し、会場を華やかにするとともに、招待者の安全かつ円滑な動線を確保するよう配置します。
- ◆ お野立所周りは、かがり弁菊等、本県が全国に誇る花きの生花で飾花します。

設置区域	内 容
入場チェックエリアから式典エリアまで	招待者の安全かつ円滑な動線を確保するために、プランターを設置。
式典エリア	県産木材と切り花を融合させたモニュメントを設置。
式典所	式典エリアを明確にするとともに、雰囲気を引き立てるようプランターを設置。
式典エリアとおもてなし広場の連絡通路	招待者の安全かつ円滑な動線を確保するために、プランターを設置。
おもてなし広場	広場内における招待者の安全かつ円滑な動線を確保するために、プランターを設置するとともに、「花の王国あいちPRコーナー」等を設置。

6. 電気・給排水・通信設備計画

(1) 電気設備計画

- ◆ 会場内で使用する電源は商用電源を引き込むほか、仮設電源（ジェネレーター等）を設置し対応します。

(2) 給排水計画

- ◆ 水は施設内より給水し、排水は回収後、適正に処理をします。

(3) 仮設トイレ計画

- ◆ 式典会場の各エリア毎に適正な数量を設置するとともに、衛生面にも十分配慮します。

(4) 通信設備計画

- ◆ 運営を円滑に行うため、会場の実施本部等に臨時電話を設置するほか、携帯電話やトランシーバー等の無線通信機器を適正に配置します。

第5章 運営計画

1. 基本的な考え方

- ◆ 全国から参加される皆様を、県民全体が「おもてなしの心」でお迎えします。
- ◆ 招待者の安全・安心を確保し、快適・清潔に過ごしていただけるよう、大会の円滑な運営を行います。

2. 招待計画

参加者区分		人数	備考
①中央特別招待者		30人	公益社団法人国土緑化推進機構会長、国務大臣、愛知県知事、愛知県議会議長、次期開催県知事等
②特別招待者	県外特別招待者	450人	県選出国會議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者、コンクール入賞者等
	県内特別招待者	750人	県議会議員、市町村長、緑化功労者、実行委員会委員等
	小計	1,200人	
③一般招待者	県外一般招待者	1,000人	各都道府県森林・林業関係者等
	県内一般招待者	5,570人	県内の森林・林業関係者及び県内公募による一般県民等
	小計	6,570人	
招待者小計 ①+②+③		7,800人	
④実施本部員		2,200人	県職員、市町村職員、ボランティア
計 ①+②+③+④		10,000人	

3. 行動計画

《当日スケジュール》

時間	全体進行	中央 特別招待者	特別招待者		一般招待者		実施本部長	
			県外	県内	県外	県内		
	(人数)	30人	450人	750人	1,000人	5,570人	2,200人	
6:00					指定宿泊地	指定集合地	指定集合地	
7:00			指定宿泊地	指定集合地 指定宿泊地				
8:00	おもてなし 広場	指定宿泊地	入場チェック		入場 チェック	記念植樹 (植樹会場)		
9:00			記念植樹 (植樹会場)		記念 植樹	入場チェック		
		到着	会場散策				各配置場所	
		着席	着席					
10:00	プロローグ	プロローグ						
11:00	式典 記念式典	記念式典						
12:00	エピローグ	離席	エピローグ					
13:00	おもてなし 広場	昼食 (昼食会場)	昼食・会場散策			昼食 会場散策		
14:00			順次会場出発			順次 会場出発		
15:00		駅・空港	駅・空港	指定集合地	駅・空港	記念植樹 (植樹会場)		指定集合地
						指定集合地		指定集合地

※招待者の行動計画は変更となる場合があります。

4. 受付計画

(1) 前日受付

- ◆ 宿泊される招待者については、大会前日、指定宿泊施設にて1回目の受付を行います。
- ◆ 指定宿泊施設には招待者専用の受付を設置し、スムーズなチェックインができるようにします。
- ◆ 指定宿泊施設での受付業務は、原則、実施本部員が行います。

(2) 当日受付

- ◆ 全国植樹祭当日の受付は、指定宿泊施設や指定集合地で、バスに乗車する前に行います。
- ◆ I Dカードの紛失や記念品・大会用品等が不足した場合に備え、入場チェックエリアに記念品・大会用品のストックヤードを兼ねた I Dカード再発行所を設け、不足品の対応と I Dカードの再発行を行います。
- ◆ 必要に応じて受付業務の補助や配付物の補充等の対応がとれるよう、関係者と連携を図ります。

(3) 配布物品

- ◆ 本県の森林・林業、地場産業、特産品等を全国に情報発信するため、記念品等を配付します。
- ◆ 記念品の選定にあたっては、県産品の活用を図り、環境に配慮したものとするとともに、県外からの招待者の持ち帰りやすさにも配慮します。
- ◆ 式典の円滑な運営のため、I Dカードや帽子等を配付します。

(4) レセプション受付

- ◆ 前日に開催されるレセプションの受付は、下記により行います。

区分	受付場所	受付時間	受付内容
中央特別招待者 県外特別招待者 県内特別招待者（一部）	会場入口	会場入場前	本人確認、手荷物チェック

5. 作品御覧・レセプション計画

(1) 作品御覧

- ◆ 国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの優秀作品及び第70回全国植樹祭大会ポスター原画作品を展示し、天皇皇后両陛下に御覧いただきます。

<主 催> 公益社団法人 国土緑化推進機構、愛知県
<開催日時> 2019年6月1日(土)
<会 場> 両陛下の宿泊施設内
<招待者> 国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者
第70回全国植樹祭大会ポスター原画作者

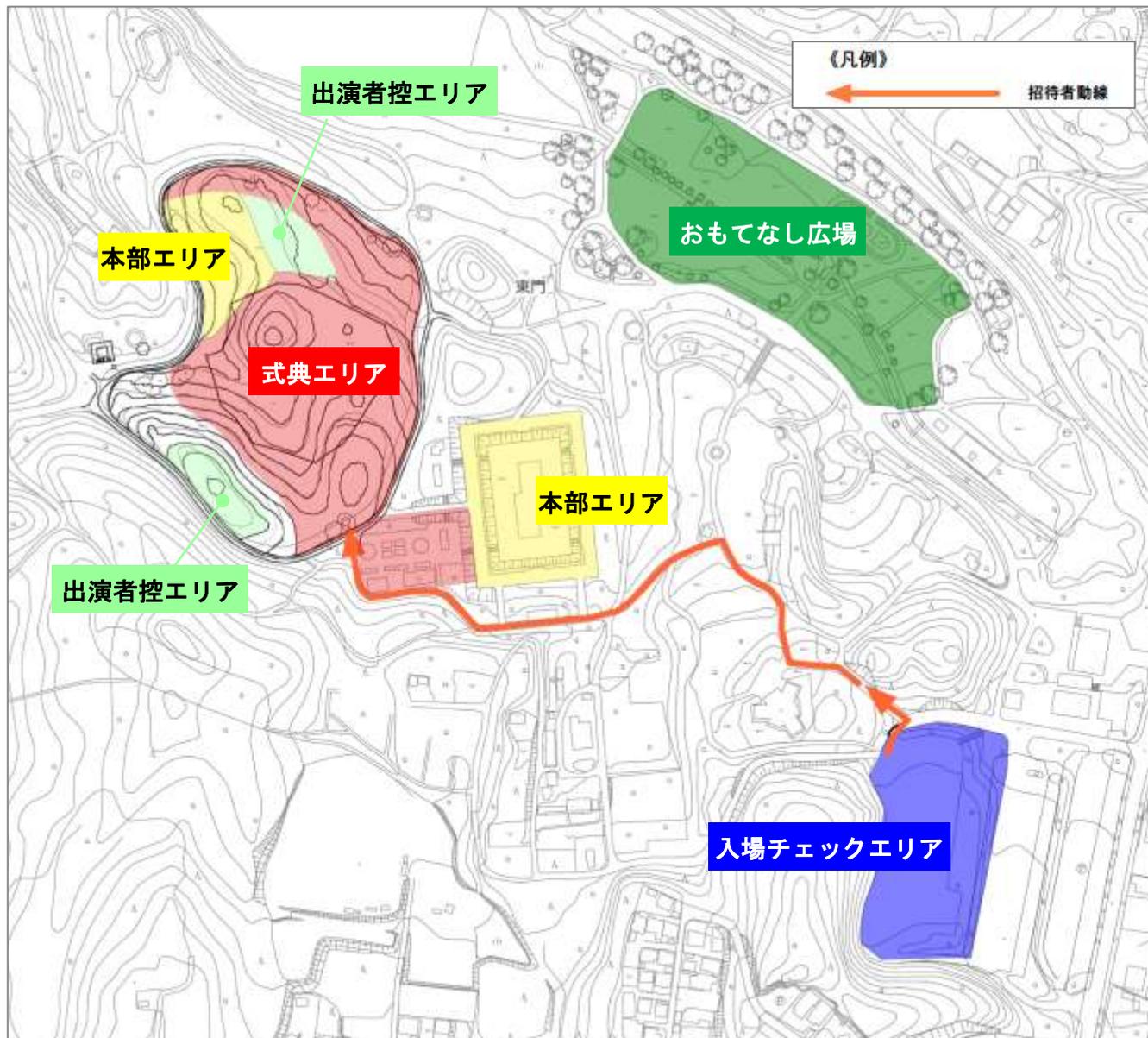
(2) レセプション

- ◆ 天皇皇后両陛下の御臨席を賜り、第70回全国植樹祭招待者の来訪を歓迎し、懇親を深める場とします。

<主 催> 愛知県
<開催日時> 2019年6月1日(土)
<会 場> 両陛下の宿泊施設内
<招待者> 500名程度
・中央特別招待者
(公益社団法人国土緑化推進機構会長、国務大臣、次期開催県知事 等)
・県外特別招待者
(県選出国會議員、緑化功労者 等)
・県内特別招待者
(県議會議員、市町村長、実行委員会委員 等)

6. 会場内動線計画

(1) 入場時の動線



(2) 退場時の動線

入場時のコースを反対に戻る動線とします。

7. 会場おもてなし計画

- ◆ 式典会場と近接しておもてなし広場を設置します。招待者が安心・安全・快適に過ごせるよう総合案内所や湯茶接待コーナー、救護所、仮設トイレ等を整備します。
- ◆ 本県の木づかいや森づくり活動の取組みや花きをはじめとした農林水産物、観光、特産品等を招待者に広くPRするため、各種展示コーナーや観光案内所、物産販売ブース等を関係団体の協力により運営します。
- ◆ おもてなしステージでは、愛知県にゆかりのある歌や踊り、民族芸能等の演目を行います。
- ◆ おもてなし広場の運営にあたっては、出展者等との協力により、廃棄物の減量化に取り組むとともに、飲食物の提供において環境に配慮した容器を使用する等、環境に優しい運営に努めます。

区分	施設名	内容
おもてなし広場	総合案内所	招待者に対する各種案内・情報提供、案内誘導、各種パンフレットの配布、遺失・拾得物の管理
	おもてなしステージ	愛知県にゆかりのある歌や踊り、民族芸能等の披露
	湯茶接待コーナー	招待者に湯茶、ミネラルウォーターを提供
	販売コーナー	愛知県内の農林水産物や特産品、飲食物等の販売
	展示コーナー	愛知県内の森林・林業、観光等を紹介 愛知県内の大学生による県産木材を使用した木製品の展示
	花の王国あいちPRコーナー	愛知県産花きのPRや販売
	臨時郵便局	記念切手の販売、郵便・宅配サービス
	救護所	招待者の体調管理・救護
	休憩コーナー	休憩用テントを設置



参考例：第68回全国植樹祭富山大会

《 おもてなし広場配置図 》



《 おもてなし広場展開イメージ 》



8. サテライト会場計画

- ◆ 式典参加者のみならず、多くの県民の方々に第70回全国植樹祭を体感していただくため、名古屋市のオアシス21と豊橋市の豊橋総合動植物公園（のんほいパーク）、尾張旭市の尾張旭市渋川福祉センターにサテライト会場を設置し、式典の放映や各種出展ブースを設置します。

《 会場位置図 》



《 サテライト会場イメージ 》



参考例：第68回全国植樹祭富山大会

《 オアシス21 》



《 豊橋総合動植物公園（のんほいパーク） 》



《 尾張旭市渋川福祉センター 》



9. 昼食計画

(1) 基本的な考え方

- ◆ 本県の豊かな自然に育まれた、土の恵み、海の恵み、山の恵みなどの県産食材をふんだんに使用した弁当を招待者に提供し、あいちのブランド農林水産物を通じて本県の魅力を発信します。
- ◆ 弁当の製造、輸送、保管、配布は、衛生面と安全面に万全を期すとともに、容器・包装資材についても環境に配慮したものを使用します。

(2) 昼食場所

- ◆ 昼食会参加者以外の招待者は、式典会場内での昼食（弁当）とします。
- ◆ 出演者、実施本部員は、原則としてそれぞれ業務に従事する場所での昼食（弁当）とします。
- ◆ 弁当の配布については、下表のとおりとし、効率的に配布します。

区 分	弁当配付・昼食場所	弁当配付時間
中央特別招待者 (昼食会参加者を除く)	式典エリア (特別招待者席)	エピローグ終了後
特別招待者	式典エリア (特別招待者席)	
一般招待者	式典エリア (一般招待者席)	
出演者等	出演者控所	随時
実施本部員	本部エリア等	

10. 医療・衛生計画

(1) 医療救護所の設置

- ◆ 式典会場に救護所、植樹会場に簡易救護所を設置し、医師等により傷病者の医療救護を行います。
- ◆ 救護所には、医薬品や休憩用ベッド、AED等を備えます。
- ◆ 消防署や近隣の医療関係機関の協力を得て、緊急時の搬送・受入体制を整えます。

(2) 衛生対策

- ◆ 実施本部の医療救護班が中心となり保健所等の協力を得て、食品衛生や環境衛生について、関係機関と協議を行い、衛生対策に努めます。
- ◆ 食の安全を期すため、弁当業者や宿泊施設、会場内の食品提供施設などの指導を徹底します。
- ◆ 飲食等により発生する廃棄物の適切な処理を行い、各会場及びその周辺の環境美化に努めます。

11. 消防・防災・警備計画

(1) 基本的な考え方

- ◆ 消防、警察その他関係機関との協力体制を築き、連携を密にして、招待者等の安全を確保し、安心して参加いただけるようにします。
- ◆ 危機管理については、責任者を明確にし、迅速な初期対応ができるようマニュアル等を作成し、研修を行います。

(2) 消防・防災

- ◆ 実施本部の消防防災・警護班が中心となり、異常事態の早期発見・通報に努めます。
- ◆ 会場内は、喫煙所を除き全て禁煙とし、主要施設には消火器を設置します。
- ◆ おもてなし広場等の火気使用についても管理を徹底します。
- ◆ 避難計画を策定し、実施本部員への周知を図るとともに、安全に避難できる体制を整えます。

(3) 警備

- ◆ 会場内での事件・事故を防止し、円滑な運営を図るため、警察等関係機関と協力して警備を実施します。
- ◆ 警備員や実施本部員を配置して、警備や車両の整理、招待者等の誘導を行います。
- ◆ 式典会場の入場ゲートでは、金属探知機等による持ち物検査や入場者の確認を行います。
- ◆ 式典会場、植樹会場、駐車場等では、使用物品等の搬入後、夜間も含め、監視・巡回警備等を行います。

12. 実施本部計画

- ◆ 円滑な運営を図るための実行組織として、「第70回全国植樹祭愛知県実施本部」を設置します。
- ◆ 県職員を始め市町村職員、ボランティアの皆様の積極的な協力を得て効率的な要員配置を行うとともに、大会運営の円滑化及び参加者の安全性や快適性の確保に努めます。

《 実施本部体制 》



13. 研修・リハーサル計画

- ◆ 円滑な運営に向けて、実施本部員の研修を行うほか、出演者を含めたリハーサルを実施します。
- ◆ 効果的な研修・リハーサルを実施するため、事前に各班の運営マニュアルを作成します。
- ◆ 研修・リハーサル計画に基づき、実施本部員全員が業務内容を把握できるようにします。

(1) 実施本部員の研修計画

- ◆ 実施本部員の研修は、事前の資料配付、リハーサルへの参加等により実施します。

(2) リハーサル計画

区分	時期	場所	参加者	内容
式典リハーサル	2019年 4月6日(土)	式典会場	出演者 (アシスタント・介添者等) 実施本部員	記念式典のリハーサル
総合リハーサル	2019年 4月27日(土)	式典会場 植樹会場	出演者 実施本部員	全体通しリハーサル、車両・参加者 誘導、接遇研修、非常時訓練他
荒天会場リハーサル	2019年 5月18日(土)	尾張旭市 文化会館	出演者 (アシスタント・介添者等) 実施本部員	荒天時の 式典部分のリハーサル
前日リハーサル	2019年 6月1日(土)	式典会場 植樹会場	出演者 実施本部員	全体通しリハーサル、車両・参加者 誘導、接遇研修、非常時訓練他

14. 雨天時・強風時対応計画

- ◆ プログラムごとに雨天時等の対応を検討し、役割分担の明確化と雨天時等体制へのスムーズな移行を行います。
- ◆ 式典演出については、天候に応じ各出演団体との協議の上、内容の変更を決定します。
- ◆ 式典音楽隊の演奏が不可能な場合は、事前に演奏を収録した音源を使用します。
- ◆ 会場警備上、傘の持ち込みができないため、事前に雨合羽を配付します。

第6章 宿泊輸送計画

1. 基本的な考え方

- ◆ 式典前日に、宿泊される招待者（主に県外招待者）は、実行委員会が指定する施設に宿泊することとします。
- ◆ 式典当日は、前日宿泊された招待者は宿泊施設から、宿泊されない招待者は代表者の所在する住所を原則とした市町村ごとの指定集合地から、実行委員会が準備したバスにより会場に移動することとします。
- ◆ 宿泊施設の収容人数、道路交通事情、送迎体制を総合的に勘案し、無理のない宿泊・輸送体制を整えます。
- ◆ 招待者の安全で円滑な輸送を図るため、運行ルート、輸送スケジュール及び必要な交通規制などについて、関係者で綿密な打ち合わせを行うとともに、添乗員の配置・案内により快適な輸送体制を整えます。
- ◆ 会場周辺及びアクセス道路沿線では、地元市町村や関係者、地域住民の参加・協力を得て、美化に努め、招待者を歓迎します。

2. 宿泊計画

（1）宿泊施設の選定

- ◆ 式典会場や植樹会場までの道路状況やアクセス等を考慮した宿泊エリア・宿泊施設を選定します。
- ◆ 施設内または近隣で、安全にバスの乗降が可能な場所を確保できる宿泊施設を選定します。
- ◆ フロントやロビー等宿泊施設内に専用デスクを設置し、大会用品（大会プログラム、IDカード、帽子等）を円滑かつ確実にお渡しできる体制を整備します。
- ◆ 食事のメニューについては本県の食のPRに努め、県の特産品を積極的に取り入れたメニューを提供します。
- ◆ 緊急時に搬送できる救急病院や緊急対応担当者の有無、AED（自動体外式除細動器）の設置状況を事前に把握し、万が一の事故に備えます。

（2）宿泊候補地

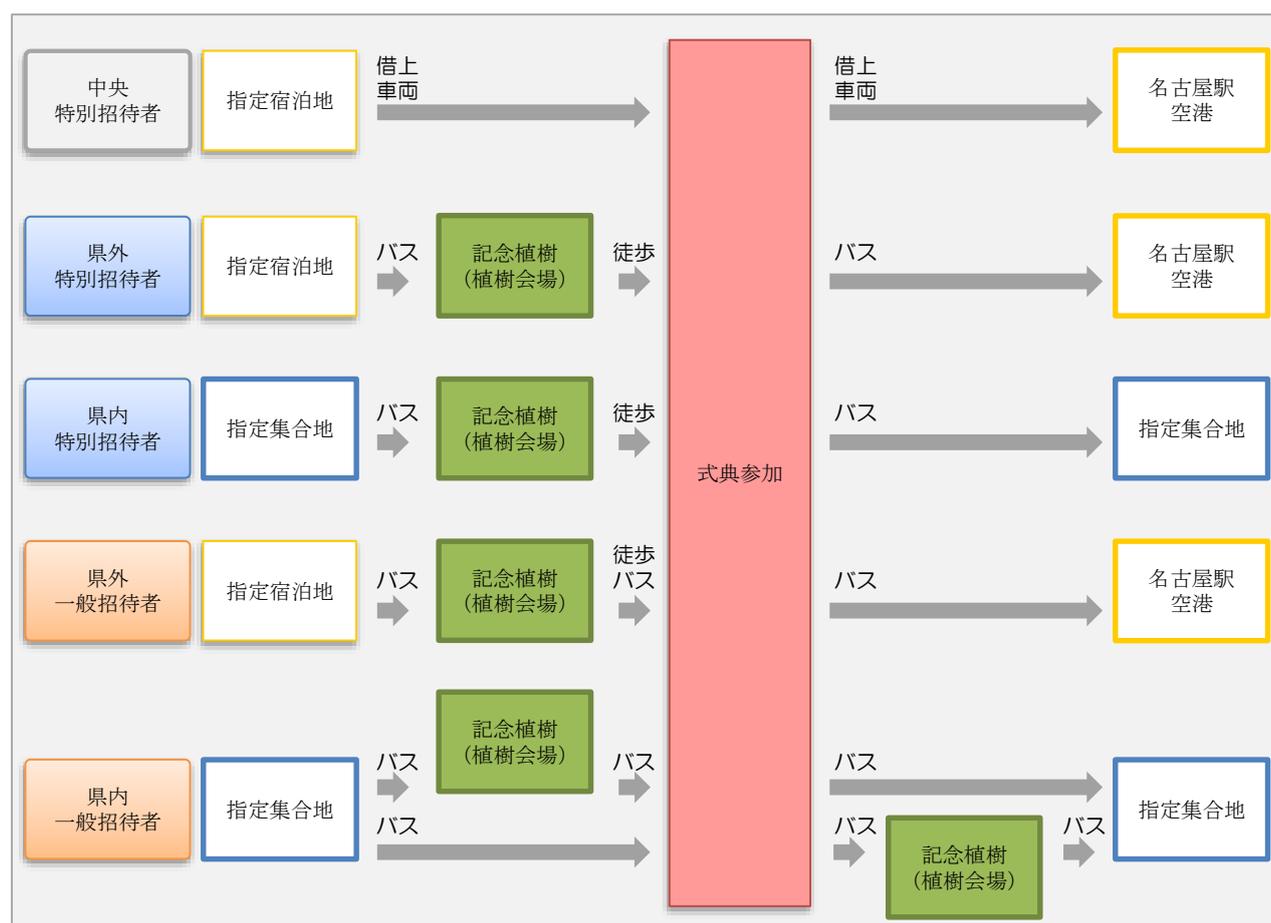
- ◆ 宿泊される招待者は、名古屋市内を中心に宿泊いただきます。なお、全国林業後継者大会に参加される方は、豊田市内を中心に宿泊いただきます。

3. 輸送計画

(1) 輸送方針

- ◆ 招待者はバスで移動することを原則とし、招待者区分ごとに輸送計画を作成します。
- ◆ 招待者の安全で円滑な輸送を行うため、バス事業者、関係機関と協議・検討の上、運行ルートを設定します。
- ◆ 式典当日の道路混雑等のリスクを想定し、高速道路を利用した極力移動時間がかからない最短ルートを設定します。
- ◆ 交通事故や渋滞等の不測の事態に備え、代替ルートや迂回ルートを設定を行います。

(2) 輸送フロー



(3) 駐車場計画

- ◆ 式典中の計画輸送バスの駐車場は、道路交通事情も考慮し、会場の隣接地または近傍地から選定し、確保します。
- ◆ 愛知県森林公園を除く各植樹会場における招待者記念植樹の間は、各植樹会場に乗降場所を設けます。

3. 開催規模

区分	内 訳	人 数
中央特別招待者	公益社団法人国土緑化推進機構会長、国務大臣、愛知県知事、愛知県議会議長、次期開催県知事等	30人
県外招待者 (特別)	県選出国會議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者、コンクール入賞者 等	450人
県内招待者 (特別)	県議会議員、市町村長、実行委員会委員 等	420人
実施本部員	県職員、市町村職員、ボランティア	100人
合 計		1,000人

4. 運営計画

(1) 式典計画

- ◆ 晴天時の3部構成（プロローグ、記念式典、エピローグ）を記念式典のみとし、大会テーマの表現、代表者記念植樹を除いた構成とします。
- ◆ 式典の時間は、50分程度とします。

(2) 式典プログラム

時 間	進 行
招待者入場	
10分程度	公益社団法人国土緑化推進機構会長、国務大臣、愛知県知事、愛知県議会議長、次期開催県知事、開催市長等到着
記念式典	
50分程度	天皇皇后両陛下御到着 開会のことば 国歌斉唱 主催者挨拶 天皇陛下のお言葉 表彰 苗木の贈呈 天皇皇后両陛下のお手植え、お手播き 大会宣言 リレーセレモニー 閉会のことば 天皇皇后両陛下御退席
招待者退場	

第8章 記念事業等計画

1. 基本的な考え方

- ◆ 第70回全国植樹祭の開催機運を盛り上げるため、県民参加の記念事業を実施します。

2. 記念事業

- ◆ 記念事業は、第70回全国植樹祭愛知県実行委員会等が主催する事業とします。

(1) あいち“言の葉”キャラバン

各市町村で行われている農林・環境イベント等に出向き、全国植樹祭の開催をPRするとともに、県民から未来の木づかいや森林への想いに対するメッセージを集めます。

【時期】 2017年5月13日～2019年3月

【場所】 全市町村（54市町村）

【内容】 メッセージの収集（メッセージは、全国植樹祭式典の中で活用する）



(2) 苗木のスクールステイ

緑の大切さと緑づくりへの関心を高めるため、小中高生やみどりの少年団の協力により、全国植樹祭で使用する苗木の育成を行います。

【時期】 2016年10月～2019年5月

【内容】 県民参加による苗木の育成



(3) 地域植樹イベント

県民参加による森林づくり活動を進めるため、県内各地域で、植樹イベントを実施します。

【時期】 2017年5月～2019年3月

【場所】 県内各地（9か所）

【内容】 記念植樹、あいち“言の葉”キャラバン等



(4) 地球未来こども塾（共催 中日新聞社）

あいち“言の葉”キャラバンの一環として、次世代を担う子供達を対象に、「木づかい人」によるワークショップを開催します。

【時期】 2017年11月～2019年3月

【場所】 豊田市始め6か所

【内容】 木製ランプシェード作り体験、組子細工教室、からくり教室等



(5) 第70回全国植樹祭あいち2019応援イベント

県内各地で実施されるイベントを第70回全国植樹祭の応援イベントと位置付け、それぞれ連携して啓発や情報発信等を行います。

【時期】 2018年4月～2019年5月

【場所】 県内各地域

【内容】 植樹、森林整備、木工教室、シンポジウム、観察会等

**(6) 全国植樹祭シンボル「木製地球儀」市町村リレー展示**

第70回全国植樹祭の開催機運を醸成するため、「木製地球儀」をリレー展示します。

【時期】 2018年7月～2019年4月

【場所】 全市町村（54市町村）

【内容】 木製地球儀の展示

**(7) あいち花の交流ひろば・フラリエみらい花フェスタ**

第70回全国植樹祭をPRするため、木材と花きを使ったディスプレイ展示を行います。

【時期】 2019年4月11日（木）～14日（日）

【場所】 久屋大通庭園フラリエ（名古屋市中区）

【内容】 木材と花きを使ったディスプレイ展示

(8) 第70回全国植樹祭1年前記念イベント

全国植樹祭の開催1年前の時期に、毎年春に開催している「愛知県植樹祭」をプレ大会として位置付け、大会の周知、開催機運の醸成を図りました。

【時期】 2018年5月19日（土）

【場所】 愛西市親水公園総合体育館

【内容】 大会イメージソングの発表、フットサル教室及び記念植樹、あいち“言の葉”キャラバン、全国植樹祭の幟作り、苗木の配付、木材利用ブース出展等

**(9) 第70回全国植樹祭カウントダウンボード除幕式**

第70回全国植樹祭のカウントダウンボードの除幕式を実施し、全国植樹祭の開催日の周知及び開催機運の醸成を図りました。

【時期】 2018年8月24日（金）

【場所】 名鉄百貨店本店[メンズ館]1階エントランス前
ナナちゃんストリートイベントスペース（名古屋市中村区）

【内容】 カウントダウンボード除幕、PRグッズの配布等



(10) 第70回全国植樹祭PRイベント

第70回全国植樹祭の開催日や参加方法を周知して、全国植樹祭への参加をPRしました。

- 【時期】 2018年9月15日（土）
 【場所】 オアシス21（名古屋市東区）
 【内容】 あいち“言の葉”キャラバン、ステージイベントやブースを使ったPRイベント等

**(11) 都市の木質化 展覧会／シンポジウム／講演会**

第70回全国植樹祭の開催機運を盛り上げるとともに、開催理念にもある「木材の利用」を推進するため、展覧会、シンポジウム及び講演会を行いました。

- 【時期】 2018年11月1日（木）～3日（土）
 【場所】 名古屋センタービル（名古屋市中区）
 【内容】 展覧会「都市の木質化のあり方と提案」
 シンポジウム「まちづくりに活かす都市木」
 講演会「地域産材による大型木造建築物が実現するまで」

**(12) 記念誌の発行、記録映像の作成**

第70回全国植樹祭の式典、植樹行事をはじめ、各種の記念行事等の取組を記録誌や記録映像等にまとめ、関係機関に配布します。

(13) 記念碑の建立

第70回全国植樹祭の開催を記念して御製碑を建立します。

3. 関連事業

- ◆ 関連事業は、関連団体が主催する事業のうち、全国植樹祭の開催理念と関連があり、実行委員会と互いに連携していく必要がある事業とします。

(1) 第48回全国林業後継者大会

全国の森林・林業関係者が一堂に会し、林業後継者の育成や、健全な森林づくりを推進するための大会を行います。

- 【時 期】 2019年6月1日（土）
 【場 所】 豊田市コンサートホール
 【内 容】 森林・林業関係者の活動発表、パネルディスカッション等



第47回全国林業後継者大会の広報誌

第9章 広報・協賛計画

1. 基本的な考え方

- ◆ 広報活動や企業協賛を通じて、大会の開催意義、開催理念、内容等について広くPRするとともに、開催への機運を高めていきます。
- ◆ 広報媒体の特性を活かした情報発信により、効果的な広報活動を実施します。
- ◆ 大会テーマ、マスコットキャラクター及び大会ポスター原画を活用し、第70回全国植樹祭の開催を県内外に広報します。
- ◆ 広報大使にマリ クリスティーナさんを起用し、県内外に広報します。
- ◆ リーダーに森ずきんちゃんを、メンバーにSKE48のみなさんを起用した第70回全国植樹祭あいち2019PR隊「チーム森ずきんちゃん」を結成しPRを図るとともに、大会を親しみやすいものとしていきます。
- ◆ 本県にゆかりのあるシンガーソングライターの岡村孝子さんに、大会イメージソングを制作していただき、県民の皆様へ大会を周知します。

2. 広報計画

(1) インターネットの活用

第70回全国植樹祭の公式ホームページを開設し、各種イベントや県内の森づくり等に関する情報を積極的に発信します。また、各種問い合わせや申し込みなどについても、インターネットやフェイスブックを効率的に活用します。

(2) 公共広報等の活用

県及び各市町村の広報や広報番組等の公共広報媒体を有効活用し、広く県民に向けて、きめ細かい情報提供とPR活動を実施します。

(3) マスメディアの活用

テレビ、ラジオ、新聞等、各報道機関との連携を深めるとともに、全国植樹祭、記念事業等に関する情報を提供します。

(4) 企業・団体との連携

マスコットキャラクター等の使用を広く呼びかけるなど、県内を中心とした企業・団体の支援協力による広報活動を通じ、全国植樹祭の周知を図ります。

(5) 植樹祭ポスター・情報誌の発行

ポスターを作成し、鉄道などの交通機関や県内の市町村での掲示を行います。また、「森ずきんちゃんだより」を発行し、開催準備状況や記念事業の実施状況等について情報発信します。

(6) PRグッズの作成・配布

マスコットキャラクター等を用いた各種PRグッズを作成・配布し、開催の周知と機運の醸成を図ります。

(7) 記念事業の実施

広報大使マリ クリスティーヌさん、PR隊「チーム森ずきんちゃん」が参加し、県民が参加・体験できるプログラムを含むイベントを行います。さらに、岡村孝子さん制作の大会イメージソングを多くの県民に披露することを通して、大会を親しみやすいものとします。

3. 協賛計画

(1) 基本的な考え方

- ◆ 第70回全国植樹祭を県民参加の大会とするため、企業や団体等に対し、広く支援を求めています。
- ◆ 協賛企業等に対しましては、第70回全国植樹祭会場や公式ホームページ、記録誌等で協賛者名を掲載するなど、様々な特典を用意します。

(2) 協賛の種類と内容

① 資金協賛

第70回全国植樹祭や各種記念事業等の開催に係る資金協力

② 物品協賛

第70回全国植樹祭や各種記念事業等の開催に係る物品協力

③ その他の協賛

各種メディアや企業広告を活用した広報協力や、機器等貸与、役務提供による協力等



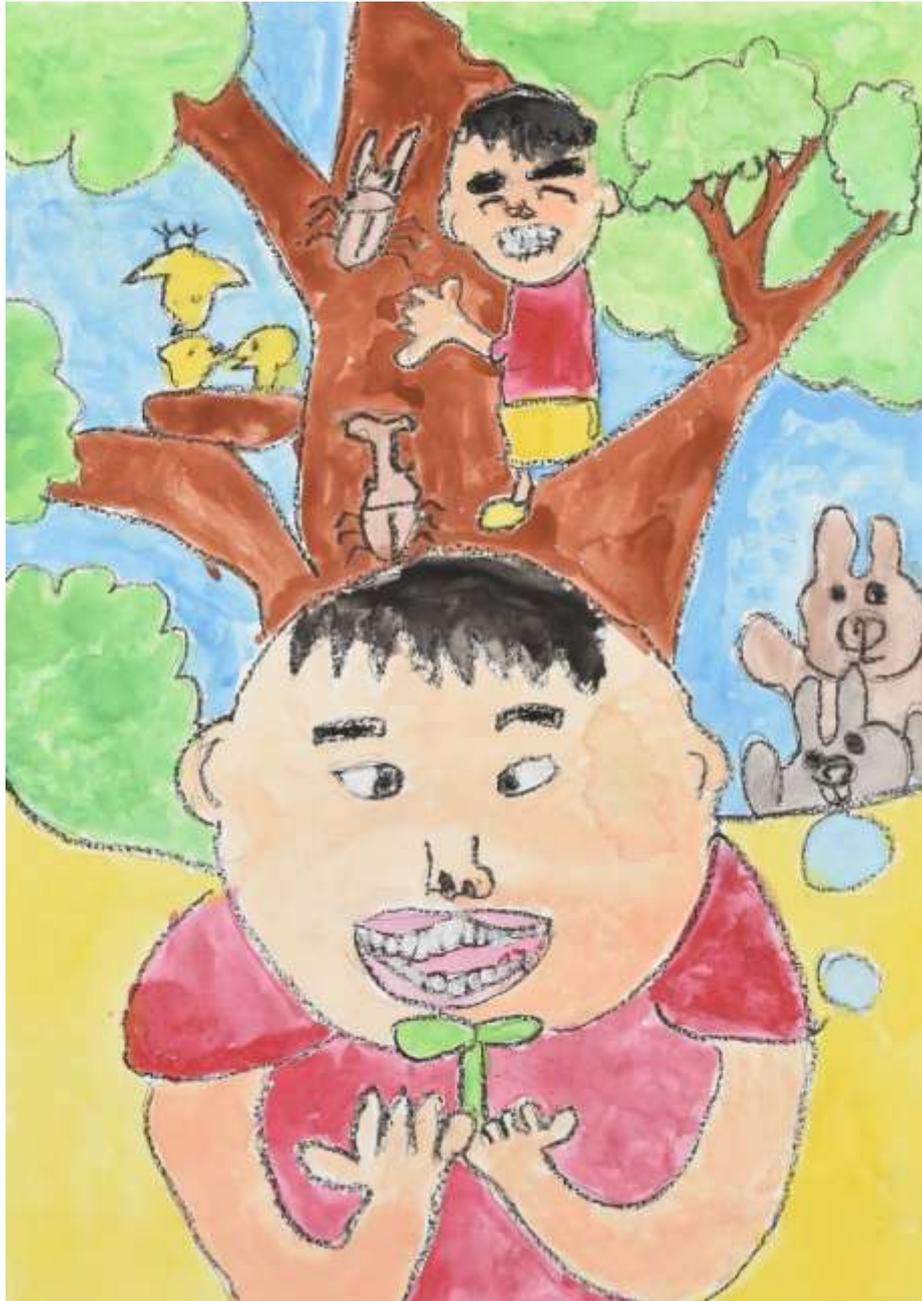
[表紙写真]

左: 針葉樹林(岡崎市切山町)
 右: 愛知県がんセンター愛知病院 地域緩和ケアセンター(岡崎市)
 下: 名古屋都市風景 新緑の名古屋城と高層ビル群



[裏表紙]

大会ポスター原画: 「ぼくの木」



第70回全国植樹祭 実施計画<概要版> 2019年2月

第70回全国植樹祭愛知県実行委員会事務局
(愛知県農林水産部農林基盤局森林保全課全国植樹祭推進室内)

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話：052-954-6618 ファクシミリ：052-951-7882
ホームページ：http://www.syokujusai-aichi2019.jp
または、「第70回全国植樹祭」で検索してください。